

第3回日アフリカ官民経済フォーラム 経済産業副大臣 開会挨拶概要

- 「第3回日アフリカ官民経済フォーラム」の主催者のひとりとして、アビジャンにお越しになった皆様を心から歓迎。
- 100社を超える日本企業のビジネスリーダーが、アビジャンに集結した。これは日本政府が主催するビジネスイベントとしては、歴史上、初めて。
- 本日の議論のテーマに合わせ、今回、新たに3つの協力策を打ち出す。
- 1つ目は、DX 関連。
日本企業とアフリカで活躍するスタートアップの連携強化に係る枠組みとして「日本アフリカ産業共創イニシアティブ、JACCI (Japan Africa Co-Creation for Industry)」をJETROと構築。日本企業の海外進出支援や、各国の制度・経済情勢の調査・発信を強みとするJETROと、アフリカで活躍する日本のベンチャーキャピタル等とが連携し、「水先案内人」として日本企業のアフリカ進出を支援。
- 2つ目は、GX 関連。
アフリカの持続可能な成長を実現するためには、それぞれの実情に寄り添った多様な道筋の下、現実的なエネルギー・トランジションを追求することが重要。そうした考えを踏まえ、日本

企業の技術を活かしたインフラプロジェクト等に関して、輸出信用機関である NEXI や JBIC によるファイナンス面での支援を強化。

- 3つ目は、連結性強化の取組。

日本企業のアフリカ進出を加速化するべく、インドや中東、欧州など第三国企業との連携強化を支援し、アフリカへの面的な展開を支援。特にインドとの間では、来年2月には東京で「日本・インド・アフリカ官民フォーラム」を開催し、その具体化を進める。

- こうした取組の具体化も含め、本フォーラムで、約20件の協力文書を披露する。

- さらに、昨年、経済産業省では、アフリカをはじめとする新興国とのビジネスを加速するため、約10億ドルの予算を措置し、アフリカビジネスを含め、日本企業の活動を支援してきた。現在国会で審議中であるが、今年も、追加で約10億ドルの予算を盛り込んだところ。これらの予算を活用し、日本とアフリカの強みを持ちよることで、両国に win-win の未来の産業を共に創っていきたいと考えている。

- 来年は大阪・関西万博そして「TICAD 9」と、日本で皆様をお迎えするイベントが続く。その成功に向けて、日本政府、地元自治体及び経済界が一体となって取り組んでいる。